

## LDK脇に子どもの居場所を

敷地は傾斜地にあり、道路から5mほどの高低差があった。車から降りて、外に出ることなく家に入りたいという希望に沿って、道路レベルの地下2階からの3層構成としている。

子どもがまだ小さく、つながりの深い家族であったため、子どもたちが過ごすブレイルームをLDK脇に置き、家族の気配が感じられるようになっている。キッチン前の壁の一部を抜いて、キッチンがブレイルームや階段、リビング側とつながる。



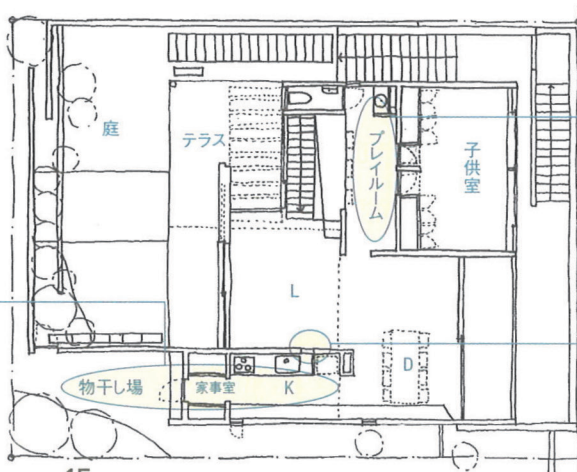
ブレイルームからリビング方向を見る (撮影: 平井広行)

1 開く間取りとカタチ!

2 こんな間取りに暮らしたい

3 要望をかなえる間取り

**家事動線をまとめる**  
キッチン、ユーティリティ、外の物干し場とつなげて、効率的な家事動線に。前に立つ1枚の壁で、ワンルームの家事スペースとリビング側を切り離す



1F  
1:250

**子どもの居場所**

子どもたちが、両親の近くで遊んだり勉強したりできるスペース。広いワンルームのなかで、家族の気配を感じながら過ごす



キッチンからダイニング方向を見る (撮影: 平井広行)

**光も入るバスコート**

浴室前のドライエリアはバスコート。上部はテラスの一部なので、スノコ状のテラス材の隙間から光が落ち、空気の入替も可能

**水廻りと主寝室を近くに**

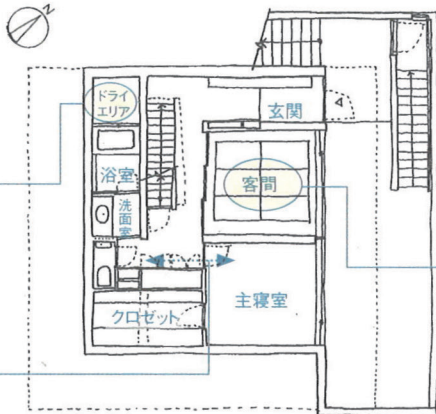
主寝室とトイレや浴室などの水廻りは、できるだけ近くに配置

**豊富な収納スペース**

敷地を大きく掘り込んでインナーガレージをつくったことで、地下に広い収納スペースを確保

**車から直接室内へ**

余裕のあるガレージスペース。車を降りて、そのまま家に入りたいという希望にしたがって、インナーガレージとしている



B1F  
1:250

**気配をつなぐスリット**

キッチン前にリビング側とつながるスリットを入れている。ここからブレイルームの子どもたちや階段を上ってくるご主人の様子が見える

**フレキシブルに使える和室**

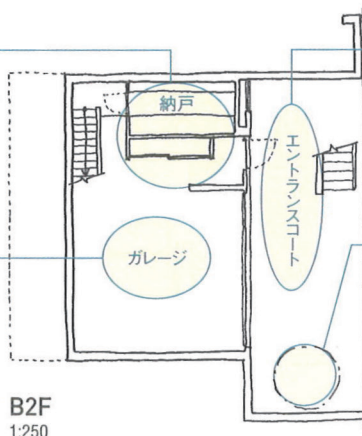
客間として想定しているが、和室としてしつらえているので、横になったり作業をしたりと日常的に使うこともできる

**道路側への圧迫感を軽減**

来客用の駐車スペースとなったり、子供たちがバトミントンなどで遊ぶ場所ともなるエントランスコート。建物を敷地奥に配置することで家の前庭となり、道路側への圧迫感を軽減する

**町に緑を**

道路際のスペースは、シンボルツリー的に株立ちのカツラを植えた



B2F  
1:250

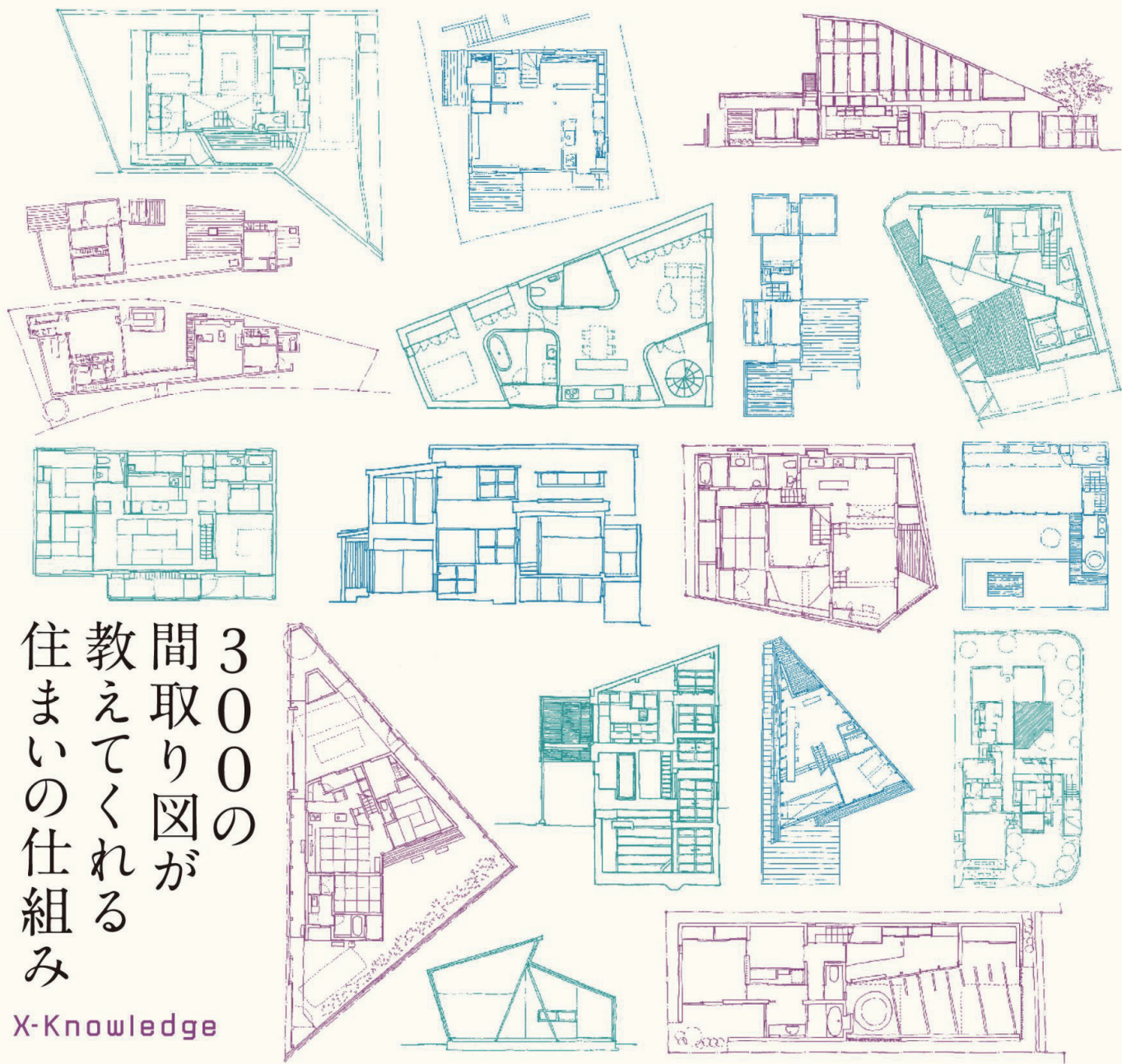
道路側外観 (撮影: 平井広行)



敷地面積/254.43㎡ 延床面積/114.13㎡  
設計/矢板建築設計研究所  
名称/磯子台の家

# 最高にステキな [間取り]の図鑑

編著=ザ・ハウス



300の  
間取り図が  
教えてくれる  
住まいの仕組み

X-Knowledge